

特別支援教育だより

第1号



令和5年5月12日

長崎市立深堀小学校

特別支援教育部

雨天続きの連休でしたが、ご家族で楽しい思い出作りはできたでしょうか？

学校では運動会の練習が連日続くようになってきました。子ども達は、きらきらした表情で練習に励んでいます。どうぞ、当日の子ども達の活躍をご期待ください。

この「特別支援教育だより」では、特別支援に関する情報をお届けしていきます。

特別支援教育って？

○将来を見据えた、その子にあった指導・支援

学校生活や勉強で困っている子ども（障害の有無にかかわらず）に対して、その子にあった適切な指導・支援をして必要な力を高める教育を特別支援教育といいます。将来、いきいきと生活できることが目標です。

○30人中3名が必要としている！

全国実態調査（令和4年実施）の結果によると、小・中学校の通常の学級に在籍している児童・生徒のうち、約8.8%に学習や生活面で特別な支援が必要であることが分かりました。また、長崎県教育委員会の調査でも約1割は支援が必要であると分かっています。つまり、30人学級では、3人程度の子どもが「勉強が分からない」「友だちとうまくいかない」「ルールが守れない」などの理由で困っているということが考えられます。

何らかの支援を必要としている子どもたちが、よりよい成長ができるように、必要に応じて校内・外の様々な機関と連携してサポートしていきます。教頭を相談の窓口として、特別支援教育コーディネーターをはじめ、深堀小全職員でサポートしていきます。

子どもさんのことで気になることがありましたら、遠慮無く、担任か教頭までご連絡ください。

特別支援教育コーディネーター

若杉 敏彦（教頭） 田中 洋子（コスモスA担任） 高橋 萌（コスモスB担任）
田栗 広基（あおば担任） 松尾 恵子（ひまわり担任） 土橋 美香（たんぼぼ担当）